

質問書に対する回答

工事名)上信越自動車道 高岩山トンネル(下り線)補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回 答
1	特記仕様書P4 7-3	交通規制可能時間の表中段の摘要欄が昼間作業となっているが、昼夜連続作業の間違いでないでしょうか。	特記仕様書7-3では昼夜連続車線規制における作業を昼間作業と昼夜連続作業で区分して明記しております。
2	全般	労務単価は群馬県で良いでしょうか。	積算の内容に関する質問はお答えできません。 なお、労務賃金の考え方については、土木工事積算基準 第4編 労務費をご参照ください。
3	図面番号1/146	用・排水溝Sp・φ0.20のA～C区間の延長が区間長より1m短いですが、集水ますTypeMは0.9mであるので、延長マイナス0.9mでないでしょうか。	設計図1/146に示す延長で計上してください。
4	図面番号41/146	中央排水工B材料表において、10m当たり接続管90° クロスが1個となっていますが、30m当たり1個でないでしょうか。(又は、横断排水工B1箇所当たり1個)	設計図40/146に示す配置でお考えください。
5	図面番号41/146	中央排水工B2(既設インバート区間)の盛土工Aと中央排水工B材料表中の埋戻しは同じものではないでしょうか。数量は $0.57 \times 0.75 = 0.4275 \text{ m}^3/\text{m}$ 埋戻しは発生土で、盛土工Aは購入土となっているがどちらで扱うのでしょうか。	設計図1/146に示すとおり、盛土工Aを計上しているため、購入材でお考えください。
6	図面番号143/147	施工手順図(1)のSTEP2-3の路面切削は何のため。STEP2-3は不要では。	設計図146/146に示すとおり、STEP2-1とSTEP2-2の間で工事抑制期間を挟みます。そのため、STEP2-3以降で施工基面に修正する計画を想定しております。
7	割掛対照表参考内訳書P5	既設の円形水路の切り回し方法は、割掛対照表参考内訳書のとおり、φ200の高密度ポリエチレン管(ダブル構造)を敷設して自然勾配での排水と考えて良いでしょうか。	積算の内容に関する質問はお答えできません。 貴社の施工計画に基づきお考えください。
8	図面番号1/146	インバート構造物掘削 普通部Aの埋め戻しに使用する土の仮置きは、坑内と考えて良いでしょうか。	そのとおりです。
9	全般	既設トンネルの施工箇所の標準断面図をご提示いただけないでしょうか。	設計図34/146及び35/146をご参照ください。
10	図面番号50/146	監査廊工設置時の中詰め砂は、監査員通路工と同じで、再利用と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。